

熊野町経済動向調査③

EGAWA

平成30年2月1日
熊野町商工会

目次

1. 熊野町の消費生活の購買力と広島県内の水準.....	2
2. 熊野町の消費購買力の具体的な内容と一人当たり平均.....	3
3. 熊野町の産業別の経済指標.....	7
4. 熊野町の消費と産業のまとめ.....	10

1. 熊野町の消費生活の購買力と広島県内の水準

図表1 熊野町の消費購買力と広島県内の水準

分野	指標名	単位	年次	熊野町	広島県内の平均値			
					県全体	都市部	郡部	
消費生活	消費購買力	消費購買力計(※1)	百万円	2015	31,287	120,946	162,046	25,048
		食料品購買力	百万円	2015	7,902	31,924	42,909	6,295
		住居費支出額	百万円	2015	1,893	9,452	12,801	1,639
		家具・家事用品購買力	百万円	2015	1,244	4,487	5,991	976
		被服及び履物購買力	百万円	2015	1,174	5,044	6,798	952
		保健・医療関連購買力	百万円	2015	1,352	5,278	7,089	1,053
		交通・通信費支出額	百万円	2015	5,375	17,317	22,875	4,347
		教育費支出額	百万円	2015	798	2,959	3,964	615
		教養娯楽支出額	百万円	2015	2,828	12,269	16,554	2,272
	消費購買比率	食料品購買力比率	%	2015	25.26	26.04	26.31	25.40
		住居費支出額比率	%	2015	6.05	7.22	7.54	6.47
		家具・家事用品購買力比率	%	2015	3.98	3.82	3.77	3.94
		被服及び履物購買力比率	%	2015	3.75	3.99	4.09	3.73
		保健・医療関連購買力比率	%	2015	4.32	4.38	4.39	4.35
		交通・通信費支出額比率	%	2015	17.18	15.37	14.70	16.94
		教育費支出額比率	%	2015	2.55	2.29	2.33	2.19
教養娯楽支出額比率	%	2015	9.04	9.71	9.97	9.09		

【データ出所】 株式会社日本統計センター 市場情報評価ナビ

「2017年版 特定市町村評価レポート」一部抜粋

※1 「消費購買力計」地域に居住する全世帯の1年間の購買力(消費支出額/単位:千円)を、推計したデータ

—熊野町は広島県内の郡部平均より購買力は高い

図表1から熊野町は、広島県の郡部平均よりも高い購買力を持っているが、広島県全体平均ほどではない。これは、町内の大部分が山に占められており、平野部の狭さから居住人員が低いことに起因すると考えられる。

図表1の下半分は、購買や支出の割合を比率で示したものになっている。ここから確認できることは、他地域に対して熊野町は、「交通・通信費支出額比率」が極端に高くなっていることである。広島中心部に近く、ベッドタウンの様相を呈している関係が、この数値にも表れている。また、「保険・医療関連購買力比率」が広島県全体・都市部・郡部よりも、低くなっている。熊野町は、健康な方が多い地域と、自慢が出来るかも知れない。加えて、「教育費支出額比率」も熊野町は高くなっている。熱心に教育へウェイトを置く地域資質は、筆の町の特長と捉えても良いのではないだろうか。

2. 熊野町の消費購買力の具体的な内容と一人当たり平均

図表2 熊野町の消費購買力と一人当たり平均①

分野	指標名	年次	熊野町全体	一人当たりの 年間平均購入額
消費支出額・ 購買力	消費購買力計	2015	31,287 百万円	1,268 千円
	食料品購買力	2015	7,902 百万円	320 千円
	穀類購買力	2015	694 百万円	28 千円
	魚介類購買力	2015	735 百万円	30 千円
	肉類購買力	2015	802 百万円	33 千円
	乳卵類購買力	2015	380 百万円	15 千円
	野菜・海藻購買力	2015	776 百万円	31 千円
	果物購買力	2015	327 百万円	13 千円
	油脂・調味料購買力	2015	394 百万円	16 千円
	菓子類購買力	2015	700 百万円	28 千円
	調理食品購買力	2015	991 百万円	40 千円
	飲料購買力	2015	467 百万円	19 千円
	酒類購買力	2015	443 百万円	18 千円
	外食費支出額	2015	1,223 百万円	50 千円
	一般外食費支出額	2015	1,119 百万円	45 千円
	住居費支出額	2015	1,893 百万円	77 千円
	家賃地代支出額	2015	880 百万円	36 千円
	設備修繕・維持費支出額	2015	1,019 百万円	41 千円
	設備材料購買力	2015	267 百万円	11 千円
	家具・家事用品購買力	2015	1,244 百万円	50 千円
	家庭用耐久財購買力	2015	396 百万円	16 千円
	家事用耐久財購買力	2015	236 百万円	10 千円
	冷暖房用器具購買力	2015	120 百万円	5 千円
	一般家具購買力	2015	42 百万円	2 千円
	室内装備・装飾品購買力	2015	102 百万円	4 千円
	寝具類購買力	2015	71 百万円	3 千円
	家事雑貨購買力	2015	232 百万円	9 千円
	家事用消耗品購買力	2015	292 百万円	12 千円
	家事サービス支出額	2015	155 百万円	6 千円

[データ出所] 株式会社日本統計センター 市場情報評価ナビ
「2017年版 特定市町村評価レポート」一部抜粋

以下の図表3及び図表4も、同様のデータを活用したものとなっている。

図表3 熊野町の消費購買力と一人当たり平均②

分野	指標名	年次	熊野町全体	一人当たりの 年間平均購入額
消費支出額・購買力	被服及び履物購買力	2015	1,174 百万円	48 千円
	和服購買力	2015	14 百万円	1 千円
	洋服購買力	2015	441 百万円	18 千円
	男子用洋服購買力	2015	138 百万円	6 千円
	婦人用洋服購買力	2015	241 百万円	10 千円
	子供用洋服購買力	2015	63 百万円	3 千円
	シャツ・セーター類購買力	2015	251 百万円	10 千円
	男子用シャツ・セーター購買力	2015	77 百万円	3 千円
	婦人用シャツ・セーター購買力	2015	151 百万円	6 千円
	子供用シャツ・セーター購買力	2015	23 百万円	1 千円
	下着類購買力	2015	118 百万円	5 千円
	生地・糸類購買力	2015	13 百万円	1 千円
	他の被服購買力	2015	105 百万円	4 千円
	履物類購買力	2015	163 百万円	7 千円
	被服関連サービス支出額	2015	69 百万円	3 千円
	保健医療関連購買力	2015	1,352 百万円	55 千円
	医薬品購買力	2015	282 百万円	11 千円
	健康保持用摂取品購買力	2015	150 百万円	6 千円
	保健医療用品・器具購買力	2015	232 百万円	9 千円
	眼鏡購買力	2015	56 百万円	2 千円
	コンタクトレンズ購買力	2015	28 百万円	1 千円
	保健医療サービス支出額	2015	686 百万円	28 千円
	交通・通信費支出額	2015	5,375 百万円	218 千円
	交通費支出額	2015	385 百万円	16 千円
	自動車等関係費購買力	2015	3,541 百万円	144 千円
	自動車等購入購買力	2015	1,179 百万円	48 千円
	自転車購入購買力	2015	24 百万円	1 千円
	自動車等維持支出額	2015	2,340 百万円	95 千円
	自動車等部品購買力	2015	161 百万円	7 千円
	自動車等関連用品購買力	2015	106 百万円	4 千円

図表4 熊野町の消費購買力と一人当たり平均③

分野	指標名	年次	熊野町全体	一人当たりの 年間平均購入額
消費支出額・購買力	教育費支出額	2015	798 百万円	32 千円
	授業料等支出額	2015	579 百万円	23 千円
	教科書・学習参考教材購買力	2015	19 百万円	1 千円
	補習教育支出額	2015	199 百万円	8 千円
	幼児・小学校補習教育支出額	2015	45 百万円	2 千円
	中学校補習教育支出額	2015	102 百万円	4 千円
	高校補習教育・予備校支出額	2015	50 百万円	2 千円
	教養娯楽支出額	2015	2,828 百万円	115 千円
	教養娯楽用耐久財購買力	2015	188 百万円	8 千円
	パーソナルコンピュータ購買力	2015	66 百万円	3 千円
	教養娯楽用品購買力	2015	755 百万円	31 千円
	文房具購買力	2015	56 百万円	2 千円
	運動用具類購買力	2015	134 百万円	5 千円
	ゴルフ用具購買力	2015	5 百万円	0.2 千円
	テレビゲーム機購買力	2015	12 百万円	1 千円
	他のがん具購買力	2015	37 百万円	1 千円
	切り花購買力	2015	96 百万円	4 千円
	ペットフード購買力	2015	60 百万円	2 千円
	他の愛がん動物・同用品購買力	2015	25 百万円	1 千円
	園芸用品購買力	2015	111 百万円	5 千円
	手芸・工芸材料購買力	2015	10 百万円	0.4 千円
	書籍・他の印刷物購買力	2015	399 百万円	16 千円
	教養娯楽サービス支出額	2015	1,492 百万円	60 千円
	パック旅行費支出額	2015	319 百万円	13 千円
	月謝類支出額	2015	256 百万円	10 千円
	インターネット接続料支出額	2015	176 百万円	7 千円
	その他の消費支出額	2015	6,124 百万円	248 千円
	諸雑費支出額	2015	2,740 百万円	111 千円
	理美容サービス支出額	2015	303 百万円	12 千円
	理美容用品購買力	2015	475 百万円	19 千円
	理美容用電気器具購買力	2015	12 百万円	0.5 千円
	身の回り用品購買力	2015	158 百万円	6 千円
たばこ購買力	2015	197 百万円	8 千円	

一熊野町の具体的な消費購買力を活用して、商売の内容を吟味

図表2～4は、熊野町の消費購買力の具体的な内容と、熊野町民一人当たり平均支出金額を示したものである。ここでは、熊野町でご商売をしておられる方々に、この熊野町地域が持つ購買力の金額全体を把握してもらい、またお客様の一人当たりの年間金額を知ってもらうために掲載している。ただし、この一人当たり計算に際しては、熊野町に住んでいる方々全員であるため、生まれたばかりのゼロ歳児から入院している方々まで、全てが含まれていることをご理解いただきたい。

熊野町全体の消費購買力の額を利用すると、以下のようなことが判断できる。
理髪店を運営している、年商7百万円の事業所の場合、
図表4の「その他消費支出額」の「理美容サービス支出額」を確認すると、
熊野町全体；303百万円、一人当たりの年間平均購入額；12千円である。

自社事業所のシェアは、 $(7百万円 \div 303百万円) \times 100\% \approx 2.3\%$
年間自店利用者数は、 $7,000千円 \div 12千円 \approx 583人$
と計算できる。(あくまでも平均なので、参考数値です。)

複数の商品やサービスを扱っている事業者では、各商品やサービスをそれぞれ分解して見て、各売上のシェアや獲得利用者数を把握してみてください。

3. 熊野町の産業別の経済指標

図表5 熊野町の産業別の経済指標①

分野	指標名	単位	年次	熊野町	広島県内の平均値		
					県全体	都市部	郡部
産業 業 種 構 成	民営事業所数	所	2014	758	4,360	5,853	874
	農林漁業民営事業所数	所	2014	1	28	29	23
	鉱業・採石業等民営事業所数	所	2014	0	1	1	0
	建設業民営事業所数	所	2014	61	394	525	90
	製造業民営事業所数	所	2014	171	363	482	85
	電気・ガス・熱供給業等民営事業所数	所	2014	1	4	5	1
	情報通信業民営事業所数	所	2014	2	42	58	3
	運輸業・郵便業民営事業所数	所	2014	18	121	158	34
	卸売・小売業民営事業所数	所	2014	181	1,144	1,538	227
	金融・保険業民営事業所数	所	2014	11	71	97	10
	不動産業・物品賃貸業民営事業所数	所	2014	14	321	437	50
	学術研究・専門等民営事業所数	所	2014	16	180	247	24
	宿泊業・飲食サービス業民営事業所数	所	2014	66	527	714	90
	生活関連サービス業等民営事業所数	所	2014	76	376	505	73
	教育・学習支援業民営事業所数	所	2014	29	141	191	25
	医療・福祉民営事業所数	所	2014	73	333	445	73
	複合サービス事業民営事業所数	所	2014	6	34	44	11
	サービス業民営事業所数	所	2014	32	281	378	56

【データ出所】 株式会社日本統計センター 市場情報評価ナビ

「2017年版 都道府県内 全市区町村比較 評価レポート」一部抜粋

【注】 2006年以前データ（事業所・企業統計）と2009年以降データ（経済センサス）は調査方法が異なるため、両時点の正確な比較はできません。

—製造業民営事業所数が比較的多いのは、家内分業化された筆関連の裾野

図表5の業種構成で特徴的なのが、民営事業所数に占める製造業民営事業所数の割合が、他地域に比べ大変高くなっているところである。

広島県全体の民営事業所数に占める、製造業民営事業所数は、

$$363 \text{ 所} \div 4,360 \text{ 所} \times 100\% \approx 8.3\%$$

広島県都市部の民営事業所数に占める、製造業民営事業所数は、

$$482 \text{ 所} \div 5,853 \text{ 所} \times 100\% \approx 8.2\%$$

広島県郡部の民営事業所数に占める、製造業民営事業所数は、

$$85 \text{ 所} \div 874 \text{ 所} \times 100\% \approx 9.7\%$$

熊野町の民営事業所数に占める、製造業民営事業所数は、

$171 \text{ 所} \div 758 \text{ 所} \times 100\% \approx 22.5\%$

と、圧倒的にこの地域における製造業民営事業所数は、多いことが確認できる。

これは、熊野筆の生産形態の特徴である、家内工業中心の生産の可能性が高い。それぞれの家庭で、筆の穂先を調整する方や、軸を加工する方、ネームを彫刻する方などがおり、問屋制下に編成されている毛筆製造の社会的分業の下で、多種類の毛筆が年々生産され、全国流通の過程に送りだされていることに起因するものと考えられる。

一卸売・小売業民営事業所数や宿泊業・飲食サービス業民営事業所数が少ない

図表5の業種構成の中でもう一つ特徴的なのが、卸売・小売業民営事業所数や宿泊業・飲食サービス業民営事業所数の少なさである。

広島県全体の民営事業所数に占める、卸売・小売業民営事業所数の割合は26.2%、宿泊業・飲食サービス業民営事業所数の割合は12.1%である。

広島県都市部の民営事業所数に占める、卸売・小売業民営事業所数の割合は26.3%、宿泊業・飲食サービス業民営事業所数の割合は12.2%である。

広島県郡部の民営事業所数に占める、卸売・小売業民営事業所数の割合は26.0%、宿泊業・飲食サービス業民営事業所数の割合は10.3%である。

上記に対して、熊野町の民営事業所数に占める、卸売・小売業民営事業所数の割合は23.9%、宿泊業・飲食サービス業民営事業所数の割合は8.7%となっている。

広島県の中でも、卸売・小売業が少ない理由に、ベッドタウン化して昼間人口が少ない関係がある。また、宿泊業・飲食サービス業民営事業所数が少ないところも、これに関係している可能性が高い。

図表6 熊野町の産業別の経済指標②

分野	指標名	単位	年次	熊野町	広島県内の平均値			
					県全体	都市部	郡部	
産業	民営事業所数	所	2014	758	4,360	5,853	874	
	規模構成	1～4人民営事業所数	所	2014	418	2,543	3,409	523
		5～9人民営事業所数	所	2014	169	869	1,168	172
		10～19人民営事業所数	所	2014	97	508	684	98
		20～29人民営事業所数	所	2014	40	173	233	34
		30人以上民営事業所数	所	2014	32	248	336	44
	成長度	民営事業所増減数	所	14/12	-12	43	60	3
		着工建築物増減数	棟	15/12	27	-4	-10	11
	施設充足度	人口当り小売売場面積	m ² /千人	2014	829	1,256	1,186	1,417
		人口当り大型店店舗面積	m ² /千人	2016	527	971	917	1,097
		人口当りコンビニエンスストア数	店/万人	2016	3.67	3.61	4.01	2.68
		人口当り病院・医院数	所/千人	2016	1.06	1.43	1.56	1.12
		人口当り医師数	人/千人	2014	0.73	2.35	2.66	1.61
		後期高齢者当り老人福祉施設定員数	人/百人	2014	2.06	1.09	1.11	1.04

[データ出所] 株式会社日本統計センター 市場情報評価ナビ

「2017年版 都道府県内 全市区町村比較 評価レポート」一部抜粋

【注】2006年以前データ（事業所・企業統計）と2009年以降データ（経済センサス）は調査方法が異なるため、両時点の正確な比較はできません。

一民営事業所数は減りつつも、着工建築物は堅調に増加

図表6の産業の成長度の民営事業所増減数からも確認できるように、2012年から2014年で熊野町地域は民営事業所数が減っているものの、他地域は総じて増えている状況である。しかし着工建築物に関しては、2012年から2015年で他地域に比べて増えている状況になっている。民営事業は減りつつも、その事業所の建物は新陳代謝が盛んに行われ、顧客確保の動きが盛んに行われているものと考えられる。

一人口当り小売売場面積は狭く、コンビニエンスストアの数は比較的多い

図表6の施設充足度の人口当り小売売場面積は、他地域から比べるとかなり狭くなっている。土地代の高い都市部でも、1千人当り1,186m²あるのに対して、熊野町ではその70%の829m²にとどまっている。しかし、人口当りコンビニエンスストア数は多く、広島県全体を上回っている。

一人口当り医師数がかなり少ない地域特性

図表6の施設充足度の人口当り医師数では、驚きの数字が出ている。熊野町の医師数は、広島県郡部平均の半分以下の値である。熊野町に住んでいる方々は、健康的な方が

多く医師に掛かる機会が少ない可能性がある。病院・医院数も少ない関係から、このような結果になるのかも知れないが、極端に少ない結果が出ている。それに対して、後期高齢者当り老人福祉施設定員数は比較的多く、老人福祉施設が充足している地域であり、健康と長寿を両立させている地域と考えられる。

4. 熊野町の消費と産業のまとめ

①「交通・通信費支出額比率」が極端に高く、ベッドタウンの様相を呈している。また、「教育費支出額比率」も熊野町は高くなっている。熱心に教育へウェイトを置く地域資質は、筆の町の特性と捉えても良いのではないだろうか。

②熊野町の消費購買力の具体的な内容と、熊野町民一人当たり平均支出金額を示したものは、熊野町でご商売をしておられる方々に、この熊野町地域が持つ購買力金額や、お客様の一人当たりの年間金額から獲得顧客数を把握してもらうためのものである。

③製造業民営事業所数の圧倒的な多さは、熊野筆の生産形態の特徴である家内工業中心の生産体制の表れであると考えられる。また、卸売・小売業民営事業所数や宿泊業・飲食サービス業民営事業所数が少ない理由は、ベッドタウン化して昼間人口が少ないところにある。

④民営事業は減りつつも、その事業所の建物は新陳代謝が盛んに行われ、顧客確保の動きが盛んに行われている。人口当り小売売場面積は狭く、コンビニエンスストアの数は比較的多い。熊野町に住んでいる方々は、健康的な方が多く医師に掛かる機会が少ない可能性があり、健康と長寿を両立させている地域と考えられる。